

# 外国人患者と医療従事者の困難と課題についての文献検討

Literature review of difficulties and issues for foreign patients and healthcare professionals

○水谷裕子<sup>1</sup>

Mizutani Hiroko

1 朝日大学

Asahi University

## 【背景と目的】

わが国において、中長期在留者数と特別永住者数を合わせた在留外国人数は、341万992人となり増加傾向である（法務省、2023）。国際化が促進される中、外国人患者に安全で安心な医療を提供する支援は必要である。しかし、現状では日本の医療制度、システムが他国と異なる場合が多く、戸惑い不安になることは容易に予測される。そのことから医療機関を受診した外国人と医療者が抱える困難と課題を文献検討から明らかにすることを目的とした。

## 【方法】

### 1 研究デザイン

文献レビュー

### 2 文献検索と対象文献の選定方法

医学中央雑誌 Web 版を使用し、2024年6月に行った。原著論文の中からキーワードを「外国人」and「困難」and「課題」and「外来」or「入院」とし、現状を把握するために過去5年に条件を絞り検索を行い12文献を対象とした。

### 3 分析方法

文献1件ごとに対象文献を概括し、目的、研究デザイン、方法、対象者、考察、結果について整理した。外国人患者と医療従事者の各々の困難と課題について分けて分類した。その中から抽出された困難と課題についての記述を抜きだし整理した。

### 4 倫理的配慮

対象文献からの内容抽出の際には、論旨および文脈の意味を損ねないよう、また引用・参考文献の著作権を侵害しないように十分に配慮を行った。本研究において、開示すべきCOIはない。

## 【結果】

外国人患者への困難と課題として言葉の壁と文化の違いについて書かれている文献が多い。言葉の壁に関して翻訳アプリが活用されているが、双方向のコミュニケーションや理解は機械翻訳では十分といえない現状がある。入院中のトラブルでは、ルールやマナーが認識されないこともあり文化的な生活習慣の理解不足が大きく影響している。また外国人の中には日本の医療を信頼しているからこそ疑問や不安に思うことがあっても大丈夫だと思い自己判断に頼る患者もいる。医療者の困難と課題として、外国語の指導はハードルが高まり、多くの時間と労力を要する。医療者自身もその指導に対して正確に伝えることの困難さを感じている。医療費に関して、外国人の保険の有無や医療費が回収できなかった場合、医療機関の財政的負担が大きく、行政によるバックアップが不可欠であるとも述べられていた。

## 【考察】

言葉・文化の壁は入院・通院における治療計画に大きく影響を及ぼす可能性がある。言葉の壁に対しては医療に特化したモバイルアプリケーションや正しく理解できるように図や表、写真など視覚的な手段の活用など何通りもの方法を用いていくことが必要である。相手に理解してもらう為にも日本特有の医療機関受診のルールを外国人に伝えること、伝えたからといって守れると医療者が思い込まないことが必要である。外国人にとって必要な情報とは何かをまず理解した上で情報を提供することが必要である。